

帰国・外国人児童生徒等に対するきめ細かな支援事業【豊後高田市】

現状と課題

- ・豊後高田市では、例年日本語指導アドバイザーを招聘することで、対象児童の学習の様子を参観していただき、ひとりひとりにきめ細かい指導をいただくことができた。今後も日本語指導支援体制を充実させ、継続した日本語指導を実施するために、人材確保が必要である。
- ・市教育委員会が人材を確保・育成し、学校の要請に応じて人材を派遣するなど、システムづくりを行うことで、当該児童生徒の実態に応じた指導体制の構築をさらに進めていく。

事業内容

日本語指導アドバイザー

- 日本語指導アドバイザーを招聘し、日本語指導への助言を求める。
- 派遣や研修会・協議会では、適切な日本語指導を確立のための取り組みを行う（個別の能力に応じた「特別の教育課程」の作成、日本語指導支援員と連携した指導内容の構築、JSLカリキュラム・DLAの活用 等）



連動

日本語指導者養成・スキルアップ研修・連絡会を
実施して指導力アップ

日本語指導支援員の派遣

- 日本語指導が必要な児童生徒に支援員を派遣し、児童生徒の能力に応じた指導を行う

事業成果

児童生徒の日本語能力アップ
指導者の日本語指導力アップ



- 日本語指導を継続的に実施することにより、支援を必要とする児童生徒により効果的な指導や支援体制を構築することができた。
- 帰国・外国人児童生徒等の日本語能力が高まり、よりよい進路選択をすることができている。
- 日本語指導ができる人材を教職員を中心に育成することにより、市内すべての地域で支援できる体制をつくることができています。